

# ScreenBlack (Ver2.1) 対応「ScreenBlack21」 キーボード の説明

作成日 2009.06.15

最終更新日 2012.03.24

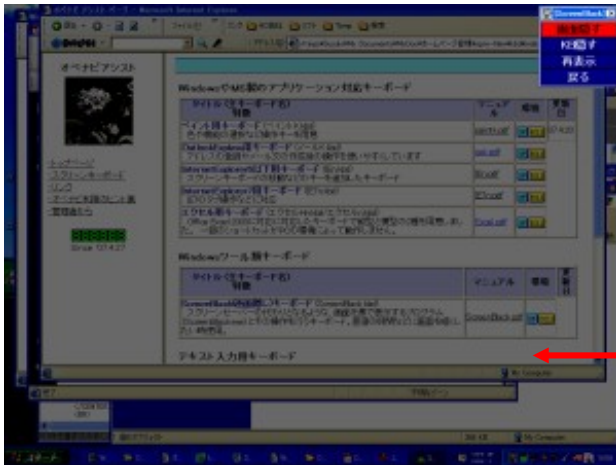
作成者 鈴木信幸

オペナビ対応バージョン

WindowsVista オペレートナビ EX(Ver3.0)

Windows7 オペレートナビ TT

・デュアルモニター 2 台対応



徐々に画面が真っ暗になる

## 1. キーボードの概要

スクリーンセーバーの代わりとなるような、画面を黒で表示するプログラム (ScreenBlack.exe) とその操作を行うキーボードです。昼寝の時間の間、画面を真っ暗にしておきたい時などに利用してください。

パソコン自身は、動作していますのでいつでもスイッチを押すとオペレートナビの操作を再開できます。(間違えてスイッチを押してもキーボードが再表示されるだけです)

画面は黒で表示しているだけです。若干薄く光るかもしれませんが(電源を切ったときのような真っ黒にはなりません)。

本キーボードを利用するためには次の3つの操作を順に行ってください。

- ScreenBlack21 をインストール
- オペナビ設定でショートカット登録
- オペナビ設定で KB インポート

## 2. 必要なファイルのダウンロード

### (1) ツールソフトのダウンロード

「ScreenBlack21Setup」実行ファイルをデスクトップ上にダウンロード。

### (2) KB エクスポートファイルのダウンロード

「ScreenBlack21.kbz」エクスポートファイルをデスクトップ上にダウンロード。

## 3. ScreenBlack2(Ver2.1)をインストール

### (1) ダウンロードファイルのプロパティのブロック解除

ダウンロードした「ScreenBlack21Setup.exe」ファイルのプロパティを開き、「全般」タブの「ブロック解除」をクリック。

#### (2) インストール

「ScreenBlack21Setup.exe」を実行して、インストールする。

(ショートカットがスタートメニューとデスクトップに生成されます)

#### (3) 不要ファイル削除

デスクトップにダウンロードした「ScreenBlack21Setup.exe」を削除する。

### 4. ショートカットの登録

#### (1) アプリケーションの設定

オペナビ設定を起動し、アプリケーション項目の「追加」ボタンをクリックし、デスクトップの「ScreenBlack」ショートカットを選択する。

### 5. KBの登録

#### (1) ダウンロードファイルのプロパティのブロック解除

ダウンロードファイル「ScreenBlack21.kbz」ファイルのプロパティを開き、「全般」タブの「ブロック解除」をクリック。

#### (2) KBのインポート

オペナビ設定を起動し、オンスクリーンキーボード項目の「インポート」ボタンをクリックし、デスクトップの「ScreenBlack21.kbz」を指定。

#### (3) 不要ファイル削除

デスクトップにダウンロードした「ScreenBlack21.kbz」を削除する。

### 6. 操作方法

起動	「AP 起動」の「ScreenBlack」キーを選択 または、「画面隠す」キー選択
キーボードを隠す	「KB 隠す」キーを選択 マウス強調までは消えません。(勘弁)
画面を再表示	「再表示」キーを選択 うまく再表示しない場合は、自分でマウスを画面中ほどに移動しマウス左ボタンクリック

#### 動作上の注意

プログラムの動作としては、ScreenBlack.exe を起動すると真っ黒の画面が前面に表示されます。

フォーカス位置の関係で、タスクバーが消えずに残る場合があります。そのような場合は、一旦「再表示」を行い、再度「画面隠す」を行って下さい。

黒くなっている部分をマウス左クリックすると、プログラムが終了します。

対応するスクリーンキーボードの「再表示」キーは画面右端下にあるマウスクリックしています。

何らかの原因でタスクバーが表示されている場合、マウスクリック(再表示)が正しくされない場合があります。そのような場合は、自分で黒いウィンドウ部分にマウスを移動してクリックしてください。

以上